

令和7年10月号

No.5



Nagasaki Goto Chuoh Hospital

長崎県五島中央病院だより

「絆」



新任医師紹介



消化器内科
藤野 亮太

このたび五島中央病院消化器内科に着任しました藤野と申します。消化器内科診療を中心に地域医療に貢献できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科
三瀬 正秀

令和7年10月から小児科に赴任いたしました。三瀬(みつま)と申します。五島の子どもたちのために、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



整形外科
大崎 幸平

五島市の皆様の健康をサポートできるよう、全力で頑張ります。



インフルエンザ予防接種について

本年は当院においてもインフルエンザ予防接種を実施いたします。詳細は右記の通りです。当院での接種を希望される方は、予約をしていただきますようお願いいたします。

日時	10月14日(火)、10月28日(火)、11月11日(火)、11月25日(火) 14:30~15:00(受付は14:00開始)
場所	五島中央病院 内科外来
費用	65才以上 1,350円(五島市に住民登録あり、接種日に満65才以上) 一般 4,000円
予約	連絡先:五島中央病院 内科外来 TEL:0959-72-3181 受付時間:14:00~16:00

市民公開講座のお知らせ

五島市から胃がん・大腸がんをなくそう!
～ 胃がん・大腸がんは予防できる!? ～

日時	令和7年11月22日土曜日 14時~15時
場所	五島市役所ABC会議室
主催	長崎県五島中央病院
共催	五島市国保健康政策課
内容	「胃がん・大腸がんの予防と治療について」
講師	①長崎県五島中央病院 院長 竹島 史直 ②長崎県五島中央病院 副院長 井上 啓爾 ※講演終了後、質疑応答を予定しています
対象	どなたでも参加できます
参加費	無料



オープンカンファレンスを

開催しました!

第154回
2025/8/26



「高齢者に対する口腔ケアと摂食嚥下障害」

米山歯科医院 院長 米山 須弥也 先生



「神経難病（パーキンソン病と脊髄小脳変性症）の
摂食嚥下障害の特徴とアプローチについて」

訪問看護ステーション せいな

古井 眞由美 先生

第155回
2025/9/24

3階南病棟について

主に外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の疾患患者が手術及び治療を行う病棟です。現在、高齢者の転倒による大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折、胸腰椎圧迫骨折にて緊急手術や安静治療の入院が多い現状です。

◆FLS医療（骨折リエゾンサービス）の発足◆

骨粗鬆症が原因で起こる脆弱性骨折（転倒などで起こる骨折）の患者さんが次の骨折（二次骨折）を起こさないように、医師、看護師、薬剤師、理学療法士などの多職種が連携して治療と転倒予防に取り組む医療チームが今年から発足しました。骨粗鬆症の治療開始・継続を高め、リハビリテーションによる転倒防止を実践することで、骨折の連鎖を断ち、患者さんの健康寿命の延伸を目指します。

骨粗鬆症とは…

骨量（骨密度）が減少し、骨がもろくなることで骨折しやすくなる病気です。特に閉経後の女性に多く、太ももの付け根、手首、背骨などで骨折を起こしやすく、寝たきりや要介護状態になる原因にもなり得ます。



検査部



当院検査部は、臨床検査技師10名・採血担当看護師3名・検査助手1名で活動し、地域の皆様の健康維持と疾病の早期発見に貢献するため、日々正確な検査を行っています。皆さん、「臨床検査技師」をご存じですか？臨床検査技師の業務内容は大きく2つ「検体検査」と「生理機能検査」に分けられます。「検体検査」は、患者様から採取した検体を調べるもので、血液や尿中の成分を分析し病気の診断や治療に役立てられ、感染症が疑われる場合は尿や痰の中から病原菌を特定し、どんな抗生物質が有効かを調べています。また、細胞など体の一部を顕微鏡で観察し、悪性細胞の有無を調べたりもしています。次に「生理機能検査」は、患者様の体から直接情報を記録して体の状態を調べるもので、心臓や脳から発せられる電気信号を波形として記録したり、心臓の動きを超音波を用いて画像化し、異常がないかをチェックしています。私たちは痛みや負担の少ない検査を心掛け、皆様に安心して検査を受けて頂けるよう努めています。「これは何の検査だろう？」「どんなことが分かるのかな？」検査に関して質問等ありましたら、どうぞお気軽にご相談ください



新しい血管撮影装置について

放射線科より

当院の血管撮影室では、主に経皮的冠動脈形成術（狭心症や心筋梗塞などの治療）やIVR（X線透視やCT、超音波などの画像を見ながら、体内にカテーテルや針を入れて行う治療）、肝動脈化学塞栓術（肝臓がんの治療）、経カテーテル的動脈塞栓術（主に気管支や消化管、骨盤などから出血の止血）、シャントPTA（血液透析で使用する血管の治療）などの治療を行っています。これまでは「血管撮影装置」と「CT装置」が別々に設置されており、必要に応じて患者様を移動させながら検査や治療を行っていました。



2024年11月からは、この2つの装置を組み合わせた「IVR-CT」を新しく導入しました。この装置では、血管撮影装置とCT装置を同じ場所で連続して行うことが出来るため、患者様を移動させる必要がなくなり、治療を安全かつ短時間で行えるようになりました。

point 01 治療とCT検査を同じ場所で実施

CTによる精密な3D画像とリアルタイムの血管造影画像を融合させることで、複雑な病変へのカテーテルの誘導や治療精度の向上、治療効果のチェックなどをその場で正確に行えます。

point 02 患者様の負担軽減

移動が不要になることで、カテーテルトラブル防止や清潔領域確保などの感染リスクが減少するとともに検査や治療時間の短縮効果もあります。

point 03 被ばく線量をリアルタイムで確認

「Dose Tracking system」により、放射線のあたり具合を常にモニターでき、安心して治療を受けていただけます。

point 04 治療計画を自動でサポート

肝臓がんの治療などで、治療すべき血管を自動で抽出してくれる「Embolization Plan」という機能も備えています。

point 05 CT装置単体としても使用出来る

当院で主に使用しているCT装置が1台しかないため、何らかの原因で使用出来なくなった場合の代替機として使用出来る。

新しいIVR-CT装置により、より安全で正確、そして患者様の負担が少ない治療が可能となりました。今後も当院では、最新の医療機器を活用しながら質の高い医療を提供してまいります。

薬局からの豆ちしき

予防・軽減できる薬の副作用についてのお話

病気を治すために使う薬には、場合によっては副作用がでることがありますが、薬によってはその症状を予防したり、軽減することが可能です。すべての薬と副作用に当てはまるわけではありませんが、少し参考にしてみてください。



① ニフェジピン（血圧を下げる薬）の歯肉肥厚

血圧を下げる薬のニフェジピンには歯茎が腫れる歯肉肥厚と言われる副作用が知られています。これは、歯茎の細胞にニフェジピンが溜まりやすいことが原因ではないかと言われています。この歯肉肥厚に関しては、きちんとした歯のブラッシングを行うことでその症状を軽減できることが知られています。



② ケトプロフェン（痛み止め）の光線過敏症

痛み止めの貼り薬や塗り薬に使われるケトプロフェンは、光線過敏症という薬を使った場所に日光が当たることで、その部分が赤くなる、かゆみや腫れが出てくるなどの副作用が知られています。

光線過敏症は貼った部分の日光に当てないようにすることや、外出する時（晴れの日はもちろん、曇りの日も）は貼ったところを濃い色の服やサポーターで日光からさえぎること、はがした後も少なくとも4週間は貼っていた場所を日光からさえぎることで予防することができると考えられます。



③ インスリン注射のインスリンボール

糖尿病の治療で使うインスリンの注射は毎回同じところに注射していると、その部分の皮膚の下に硬い部分ができてきます。これをインスリンボールと言って、その部分のインスリンの吸収は普通の皮膚よりも悪くなっているので、インスリンボール付近にインスリンの注射を打ち続けると血糖のコントロールが悪くなってしまいます。このインスリンボールは注射する場所を毎回2～3cmずらすことで予防することができます。



④クエン酸第一鉄の歯の着色

貧血で使われるクエン酸第一鉄は服用していると歯や舌が茶褐色になることがあります。この場合は重曹(炭酸水素ナトリウム)を使って取り除くことができます。



⑤吸入ステロイドの声枯れや口腔内カンジタ症

喘息の治療に使用する吸入ステロイドは気管支の炎症を抑えて喘息の症状が悪くなるのを防ぐ働きがありますが、副作用として声枯れや口腔内カンジタ症が起きる場合があります。これは薬を吸入した後に水でうがい(それができない時は口の中をすすぐでも大丈夫です)することで予防する事ができます。



⑥免疫の働きを抑える薬と感染症

がんの治療に使用する抗がん剤や関節リウマチなどの自己免疫疾患に使用する免疫抑制剤は体の抵抗力を低下させてしまう場合があります、感染症にかかりやすくなる時があります。感染症は重い症状になることもあるので注意することが必要です。これらの薬による感染症の予防には手洗いをきちんと行うことで感染症にかかる可能性をさげることができます。また、必要な場合にはワクチンの接種をすることで、感染症の症状が重くなることを防ぐ事が出来ます。



⑦ビスホスホネート系薬剤と食道潰瘍

骨を強くする目的で飲むことがあるビスホスホネート系薬剤(アレンドロン酸やリセドロン酸など)の飲み薬は少ない水で服用すると食道に薬が残って食道潰瘍を起こす場合があります。この副作用は薬を多めの水(180mL以上)で服用して、服用したら30分は横にならないことで防止することができますと言われています。



終わりに

薬の副作用には色々なものがあります。
これらの予防策を行っても副作用が起きてしまう
場合があるので、気になったことがあれば医師や
薬剤師に相談することも大切です。

五島中央病院外来等診療担当表

(R7.10.1～)

科	曜日 区分	月	火	水	木	金
内科	総合診療科	院長	前田 隆 浩	野 中 文 陽 (糖尿病外来)	宮 田 潤 (第1・3・5) 永 田 康 浩 (第2・4 9:30～)	
	新 患	貝 原 宗 平 (循環器)	瀬 戸 口 大 地 (呼吸器)	今 西 ・ 澤 瀬 (血液)・(腎臓)	藤 野 亮 太 (消化器)	田 島 和 昌 (消化器)
	旧 患	1 診	今 西 大 介	貝 原 宗 平	今 西 大 介	藤 野 亮 太
		2 診	澤 瀬 篤 志	澤 瀬 篤 志	玉 置 明	松 本 和 幸
		3 診	山 元 暢	山 元 暢	森 崎 大 空	貝 原 ・ 山 元 暢
		4 診	瀬 戸 口 大 地	板 垣 亮 里	瀬 戸 口 大 地	板 垣 亮 里
	午 前	7 診				澤 瀬 篤 志
		処方・予約外	松 本 和 幸	玉 置 明	森 崎 大 空	山 元 暢
		救急担当	玉 置 明	貝 原 宗 平	藤 野 亮 太	板 垣 亮 里
		人間ドック	長 置 美 穂	長 置 美 穂	長 置 美 穂	松 本 和 幸
	午 後	内 視 鏡	藤 野 ・ 森 崎	田 島 ・ 藤 野	長 置 ・ 澤	澤 ・ 森 崎
		透 視			放 (長置健司)	
		腹部エコー			田 島 和 昌	
		心エコー・ 運動負荷		山 元 暢	貝 原 宗 平	
	午 後	救急担当	澤 (第1・3・5) 森 崎 (第2・4)	板 垣 亮 里	松 本 和 幸	澤 瀬 篤 志
		B S	呼吸器内科医師			森 崎 (第1・2・3・5) 内科医師 (第4)
		C S	消化器内科医師	消化器内科医師	消化器内科医師	消化器内科医師
		心 カ テ	貝 原 ・ 山 元 暢		貝 原 ・ 山 元 暢	
診療応援	特 殊 外 来	その 他	カンファランス (16:30～2階講義室)		物 忘 れ 外 来 院長・宮田・永田 (14:00～15:30)	
		診療 応 援		三 井 栄 診 療 所 (第2・4)		
			リウマチ外来	リウマチ外来	脳神経内科 (第2)	脳神経内科 (第1)
						油 症 外 来 (第1・3 午前) 診療場所:皮膚科
整形外科	午 前	新生児検診				
		1 診 (旧患)	大 崎 幸 平	大 崎 幸 平	松 永 千 子	木 村 裕 平
		2 診 (新患)	松 永 千 子	木 村 裕 平	大 崎 幸 平	松 永 千 子
		3 診 (包交・処置)	木 村 裕 平	松 永 千 子	木 村 裕 平	大 崎 幸 平
外科	午 後	手 術	手 術	手 術 ・ 回 診	手 術	手 術
		特 殊 外 来	乳 児 検 診 医 師			
		1 診	北 島 正 親	竹 森 広 大	北 島 正 親	井 上 啓 爾
		2 診	萩 原 朋 也	井 上 啓 爾	竹 森 広 大	北 島 正 親
産婦人科	午 後	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術
		特 殊 外 来	乳 腺 外 来			乳 腺 外 来 (受付10時まで)
					小児外科 (第4)	
精神科	外 来	阿 部 修 平	近 藤 さ や か	手 術	阿 部 修 平	近 藤 さ や か
		1 診 (8:30～)	中 野 健	小 田 孝	小 田 孝	三 宅 通
		2 診 (9:30～)	三 宅 通	中 野 健	小 田 孝	三 宅 通
		新患・病棟 臨床心理士外来 (予約制)	小 田 孝	三 宅 通	中 野 健	三 宅 通
小児科	午 前	診療 応 援			奈留医療センター (第1・3) 中 野 健	
		外来(予約外)	瀬戸口麗沙・応援医師	三浦正秀・応援医師	瀬戸口麗沙・応援医師	三浦正秀・応援医師
		病 棟	三 浦 正 秀	三 浦 正 秀	三 浦 正 秀	三 浦 正 秀
		外来(予約)	三 浦 正 秀	瀬 戸 口 麗 沙	瀬 戸 口 麗 沙	三 浦 正 秀
眼科	午 後	病棟・救急担当	三浦正秀・応援医師	三浦正秀・応援医師	三浦正秀・応援医師	三浦正秀・応援医師
		乳幼児健診	4 か 月 検 診	1 か 月 検 診	乳幼児健診(院外)	乳幼児健診(院外)
		臨床心理士外来 (予約制)		入 江 望 富 美	入 江 望 富 美	入 江 望 富 美
		専 門 外 来		神 経 外 来 (第2) 里 龍 晴	予 防 接 種 外 来	循環器外来(第4) 大 塚 雅 和 心療発達外来(第2) 北 島 翼
耳鼻科	外 来	土 井 祐 介	土 井 祐 介	土 井 祐 介	土 井 祐 介	土 井 祐 介
		外 来	松 本 浩 平	松 本 浩 平	松 本 浩 平 (第2・4・5)	松 本 浩 平 (第2・4・5)
		手 術		松 本 浩 平 (第1・3)	松 本 浩 平 (第1・3)	
		手 術		松 本 浩 平 (第2・4・5)	松 本 浩 平 (第2・4・5)	
泌尿器科	午 前	手 術		松 本 浩 平 (第1・3)	松 本 浩 平 (第1・3)	
		外 来	大 坪 亜 紗 斗	大 坪 亜 紗 斗	大 坪 亜 紗 斗	大 坪 亜 紗 斗
		診療 応 援		奈留医療センター(第3)		
		診療 応 援				
放射線科	外 来	長 置 健 司 介	長 置 健 司 介	長 置 健 司 介	長 置 健 司 介	長 置 健 司 介
		診療 応 援				上五島病院 (第3)
		外 来		大 学 医 師		
		特 殊 外 来			油症外来(第1 午後)	
皮膚科	外 来					
脳外科	外 来					

初診・再診受付 午前8:00～午前11:00 休診日 土日、祝日、年末年始 ※診療科により受付・診療時間が異なります。

お問合せ TEL:0959-72-3181(代表) FAX:0959-72-2881

長崎県五島中央病院

